

第54期 中間報告書 2014年3月1日～2014年8月31日

I N T E R I M R E P O R T



グループ紹介



八ヶ岳連峰経営について

お客様との距離を短く保ちながら、スピーディな経営判断を実現するため、アークスグループは富士山のように高くそびえる大きな一つの企業体ではなく、八ヶ岳連峰のように同じような高さの山々が連なる企業連合を目指しています。



2014年9月
グループ入り
NEW

グループ理念

アークスグループは、地域のライフラインとして
価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。

グループ理念は、アークスグループがどのような領域で、どのような使命を持ち、目標を果たすのかを明確にしたもので、私たちが活動するうえでの考え方の基本となるものです。

グループ運営方針

- ① お客様第一主義の徹底
- ② 「八ヶ岳連峰経営」による運営
- ③ 健全な経営と着実な成長
- ④ ロープライス、ローコストの追求
- ⑤ 情報の公開とコンプライアンス

ご挨拶

私たち、アークスグループは、2002年11月、(株)ラルズと(株)福原の経営統合からスタートいたしました。その後、「八ヶ岳連峰経営」のもと、2011年11月に(株)ユニバース、2012年9月に(株)ジョイスと志を同じくする企業が続々と参画し、地域密着型食品スーパーマーケットを中心とする流通企業グループとして、着実に成長を続けてまいりました。また、本年9月1日には、岩手県を本拠地とする(株)ベルプラスが仲間入りし、東日本地域における営業基盤の強化を進めております。

今後も、「アークスグループは、地域のライフラインとして、価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します」という理念のもとに、食品のみならず生活のあらゆる場面で、お客様の暮らしを支える企業グループとして、地域のライフラインをしっかりと守り抜き、また、新しい時代に対応するビジネスモデルの構築と企業体質のさらなる向上に、日々取り組んでまいります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長
三浦 紘一

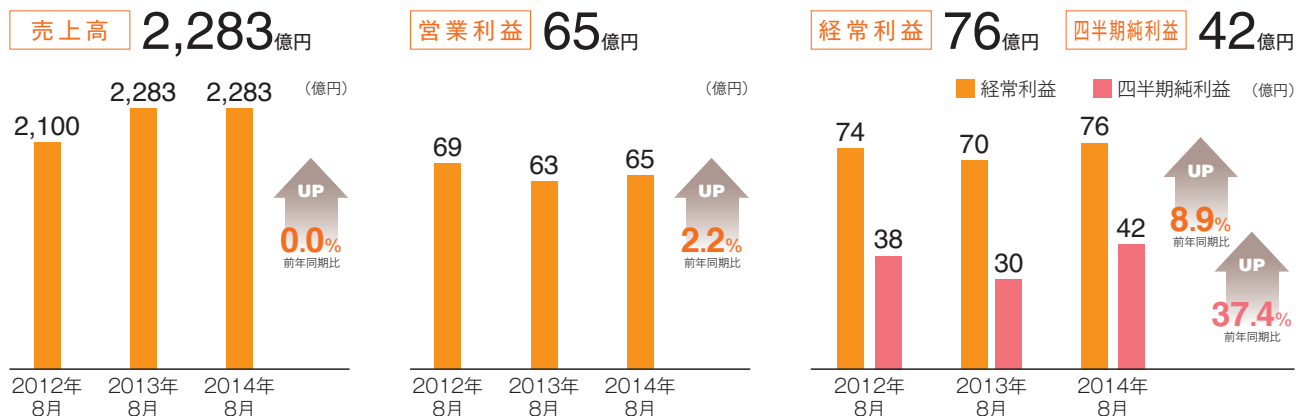


代表取締役副会長
福原 朋治



代表取締役社長
横山 清

第2四半期業績推移





代表取締役社長
横山 清

汗の力を結集顧客を、議を貫き総攻撃で増税 脱デフレの難関を突破する

平成26年
社長横山清

Q.1 この4月では消費税の増税がありました。アークスグループへの影響はどのようにお考えですか。

A.1 楽観はしていない。覚悟を決めなければいけない。

消費税増税について、楽観はしていません。駆け込み需要の後は停滞どころか食生活が変わるぐらいのインパクトがあるのではないのでしょうか。米国ではニューノーマルという言葉が一般的になっている。給料が上がらない層で、米国の食料品支出は25年前より比率が低くなっているくらい。最近、ハワイでスーパーをじっくり見たが、ディスカウントスーパーは混んでいたが高級スーパーなどは閑散としていた。

4月から3%に加えて来年10月の2%増税で我々も覚悟を決めないといけないでしょう。

Q.2 JPX日経インデックス400に組み込まれていることについて横山社長はどのようにお考えですか。

A.2 投資魅力の高い会社の一つとして認められたと感じている。

時価総額や当社も重視している指標である3年間のROEや累積営業利益など収益性、あるいは会社の役員構成の透明性なども含めた指標から割り出されたもので、投資者にとって投資魅力の高い会社の一つとして認められた訳です。食品スーパーでは、パロー(岐阜県多治見市)とアークスだけ。なるほど、そういう評価もあるんだと改めて感じています。

Q.3 9月にベルプラスとの経営統合をしました。ベルプラスとの経営統合についてお聞かせください。

A.3 宮城県におけるシェア拡大効果が大きい。

東北は今回のベルプラスとユニバース、ジョイスの3社が中心になって強固な基盤ができる。地域密着の地場スーパーを大手に負けずに展開するには、最低でも地域で30%のシェアが必要。東北六県でそれぞれ違いはあるが、各エリアで300億円の売上げがあれば東北でシェア30%に持っていける。

宮城県はジョイス1店、ベルプラス7店で宮城県での新しい地歩を築く大きな存在になるでしょう。

Q.4 アークスを応援していただいている株主の皆様へメッセージをお願いします。

A.4 全社員一丸となって株主様のご信頼に応える企業を目指します。

足し算で大きくなるということより、知恵と力を合わせて生活習慣や味の嗜好も似通った関東以北で一生懸命に頑張る。増税や不況が来ても株主の皆様と一緒に豊かな生活を作っていきましょう。株主の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようよろしく願い申し上げます。

通期見直し

売上高	4,800 億円	5.6% UP ↑	経常利益	155 億円	5.5% UP ↑
営業利益	139 億円	3.5% UP ↑	当期純利益	100 億円	56.9% UP ↑

Belle plus 株式会社ベルプラスは、 2014年9月1日、アークスグループの仲間になりました!!



本年9月1日の記者会見にて、左から、当社横山社長、(株)ベルプラス澤田社長、同速藤会長、当社三浦会長

株式会社ベルプラスの概要 (2014年9月1日現在)

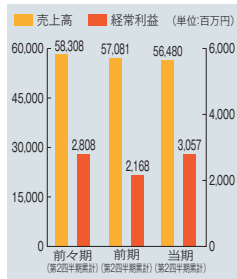
所在地	〒020-8567 岩手県盛岡市羽場10地割100番地3
代表者	代表取締役会長 遠藤 須美夫 代表取締役社長 澤田 司
事業内容	岩手県、宮城県における食品スーパーマーケット経営
店舗数	25店舗
資本金	300百万円
従業員数	1,683人(パートナー社員を含む)
売上高	41,708百万円(2014年3月期)
経常利益	910百万円(同上)

Group (主要子会社)

株式会社ラルズ

お客様の生活を支えるために。
エブリデイ・ロープライスに
徹しています。

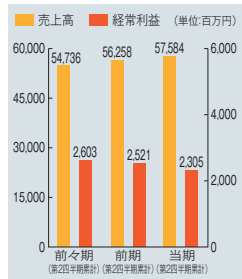
事業内容	総合小売店チェーン
設立	2002年11月1日
本社	札幌市中央区南13条西 11丁目2番32号
代表者	代表取締役社長 守屋 遼夫
店舗数	60店舗(2014年8月31日)
従業員数	4,370人(2014年8月31日)
資本金	42億円



株式会社ユニバース

「Customers, our Priority.」
地域に貢献できる食品スーパー
を目指して。

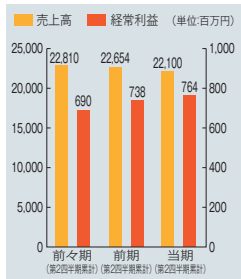
事業内容	食品スーパー
設立	1967年10月20日
本社	八戸市大字長苗代字前田 83番地1
代表者	代表取締役社長 三浦 紘一
店舗数	53店舗(2014年8月31日)
従業員数	3,856人(2014年8月31日)
資本金	15億2,290万円



株式会社福原

お客様を大切に。
この言葉を日々、
胸にぎざんでいます。

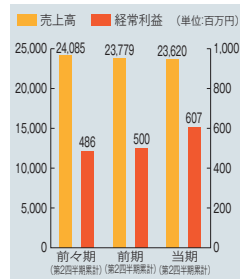
事業内容	食品スーパー、観光業、旅行業
設立	1958年5月23日
本社	帯広市西22条北 1丁目13番地
代表者	代表取締役社長 福原 郁治
店舗数	46店舗(2014年8月31日)
従業員数	1,625人(2014年8月31日)
資本金	24億8,183万円



株式会社道北アークス

お客様の利便性を第一に、
時代に先駆けた店舗運営を
展開しています。

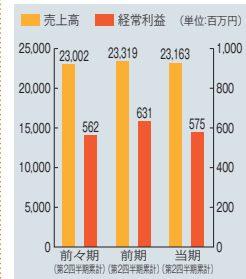
事業内容	食品スーパー
設立	1965年5月22日
本社	旭川市流通団地1条 1丁目33番地の1
代表者	代表取締役社長 六車 亮
店舗数	37店舗(2014年8月31日)
従業員数	1,950人(2014年8月31日)
資本金	7億8,117万円



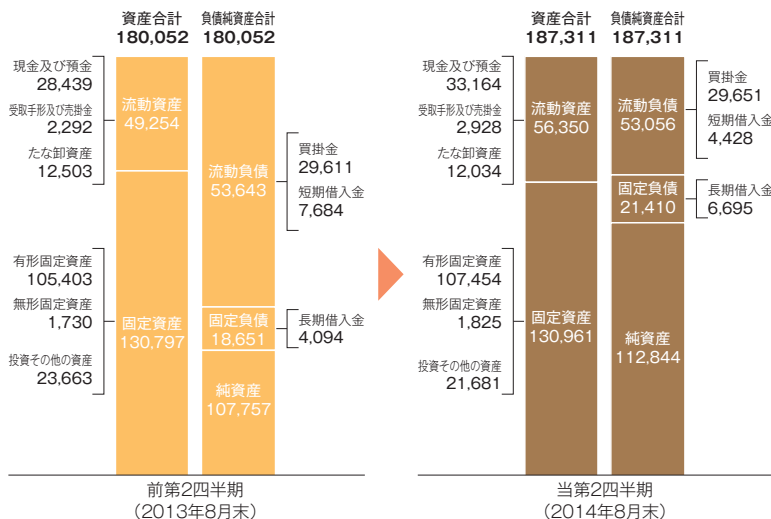
株式会社東光ストア

「いいもの東光!いいもの安く!」
地域に密着した価値ある
商品・サービスを提供いたします。

事業内容	食品スーパー
設立	1972年7月15日
本社	札幌市白石区東札幌1条 1丁目1番7号
代表者	代表取締役社長 楠美 秀一
店舗数	28店舗(2014年8月31日)
従業員数	1,685人(2014年8月31日)
資本金	13億7,785万円



第2四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結貸借対照表のポイント

総資産1,873億11百万円(対前年同期比4.0%、72億59百万円増)
負債744億67百万円(対前年同期比3.0%、21億72百万円増)
純資産1,128億44百万円(対前年同期比4.7%、50億86百万円増)
→自己資本比率60.2%(対前年同期比0.4%増)

<主な要因>

- 現金及び預金が対前年同期比47億25百万円増加。
- その他流動負債(主に未払金、未払費用、未払法人税)が対前年同期比22億67百万円増加。
- 利益剰余金が対前年同期比53億18百万円増加。

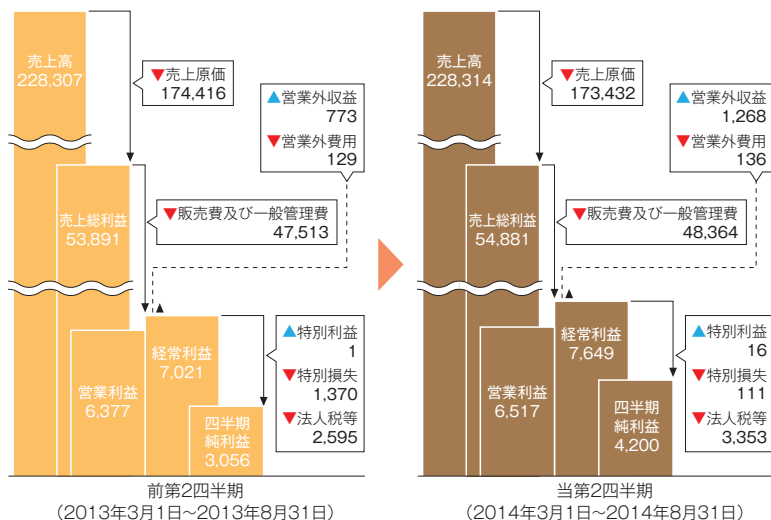
連結損益計算書のポイント

売上高2,283億14百万円(対前年同期比0.0%、6百万円増)
営業利益65億17百万円(対前年同期比2.2%、1億39百万円増)
経常利益76億49百万円(対前年同期比8.9%、6億27百万円増)
四半期純利益42億円(対前年同期比37.4%、11億43百万円増)
→売上高四半期純利益率1.8%(対前年同期比0.5%増)

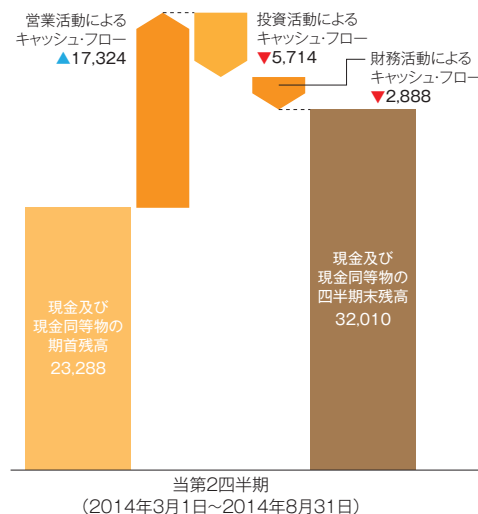
<主な要因>

- 既存店売上高が対前年同期比99.3%であったが、新店効果等により、増収を確保。
- 新店増加等により経費が増加(新店・改装 前年同期9店→今期11店)。
- (株)ラルズの貸倒引当金(預託数金)の戻入益3億60百万円。

第2四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



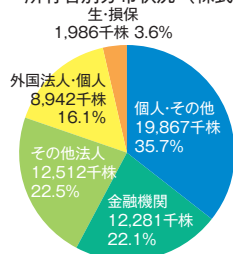
第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



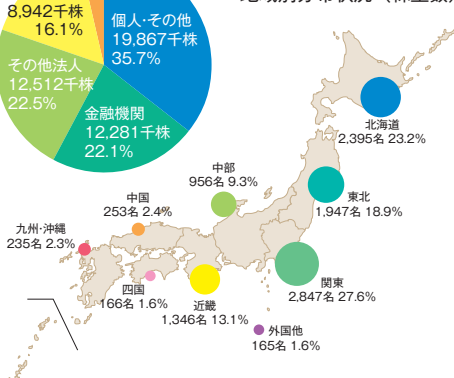
会社概要

- 商号 株式会社アークス
- 設立 1961年10月28日
- 資本金 200億円
- 証券コード 9948
- 店舗数 293店舗
(グループ全体、
2014年8月31日現在)
- 従業員数 119名
(グループ全体17,559名、
2014年8月31日現在)
- 本社 〒064-8610
札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
- 事業内容 純粋持株会社
(国内外の会社の株式または持分を取得、
所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する)

●所有者別分布状況(株式数)



●地域別分布状況(株主数)



●役員(2014年9月1日現在)

- | | |
|-----------|--------|
| 代表取締役会長 | 三浦 紘一 |
| 代表取締役副会長 | 福原 朋治 |
| 代表取締役社長 | 横山 清一 |
| 取締役常務執行役員 | 古川 公一 |
| 取締役執行役員 | 守屋 澄夫 |
| 取締役執行役員 | 六車 亮樹 |
| 取締役執行役員 | 小苺 秀樹 |
| 取締役執行役員 | 福原 郁治 |
| 取締役執行役員 | 井上 浩一 |
| 取締役執行役員 | 遠藤 須美夫 |
| 社外取締役 | 佐伯 浩 |
| 常勤監査役 | 武内 幸博 |
| 社外監査役 | 高嶋 智範 |
| 社外監査役 | 伊東 和明 |
| 執行役員 | 丸山 謙一 |
| 執行役員 | 増山 部 |
| 執行役員 | 阿部 修 |

株式の状況(2014年8月31日現在)

- 発行可能株式総数 200,000,000株
- 発行済株式の総数 55,591,438株
- 株主数 10,310名(前期末比6,865名減)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
横山 清一	3,022,954	5.50
有限会社丸治	2,937,131	5.35
株式会社北海道銀行	2,527,072	4.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,280,600	4.15
三浦 紘一	1,652,945	3.01
株式会社みまん	1,441,802	2.62
株式会社北洋銀行	1,399,144	2.54
株式会社謙徳	1,377,619	2.51
アークスグループ社員持株会	1,215,298	2.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,193,500	2.17

(注)持株比率は自己株式(717,648株)を控除して計算しております。

株主優待

日頃よりご支援いただいております株主の皆様へ、感謝の気持ちを込めて「株主優待制度」を実施しております。毎年2月末現在の株主様に対し、ご所有株式数に応じて当社グループ商品券、全国共通商品券VJAギフトカード、青森県産りんご、アップルジュースの4種類から一点とホテル福原優待割引券を贈呈しています。

※送付時期は、りんごのみ12月上旬、その他は7月上旬の予定です。

所有株式数	ご優待①or②	ご優待③	ご優待④	ご優待⑤
100~499株	2,000円分	約3kg	1箱	
500~999株	2,000円分	約3kg	1箱	1枚
1,000~4,999株	4,000円分	約5kg	2箱	2枚
5,000株以上	5,000円分	約10kg	2箱	4枚

※実際の優待品は写真と異なる場合がございます。

ご優待①~④はいずれかおひとつお選びいただけます。

ご優待①

アークスグループ商品券



ご優待②

VJAギフトカード



ご優待③

青森県産りんご



ご優待④

アップルジュース



ご優待⑤

ホテル福原優待割引券



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
剰余金の配当	毎年2月末日
中間配当	毎年8月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.arcs-g.co.jp/ ただし、電子公告をおこなうことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

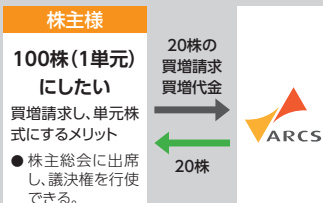
	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の 証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金の お支払	上記お取扱店に加え、 みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	配当金の支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買増・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続をおこなっていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場で売買はできませんが、当社に対して100株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができます。

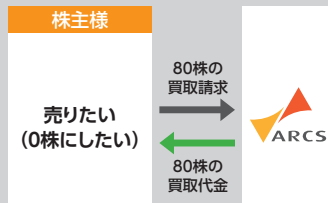
1.買増請求(購入)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



2.買取請求(売却)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



- 証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
- それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324 (平日9:00~17:00)

株主の皆様のお声を聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9948



空メールによりURL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp/>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局]
TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
TEL 011-530-1000 FAX 011-530-1010
<http://www.arcs-g.co.jp>

